特別会計

１　国民健康保険事業会計

当年度は、歳入決算額15,661,472千円に対し、歳出決算額15,586,027千円である。

歳入歳出差引額は、75,445千円の黒字であり、全額翌年度へ繰り越されている。

前年度に比べ歳入で712,294千円(△4.4％)、歳出で609,165千円(△3.8％)それぞれ減少している。これは主に、被保険者数の減少に伴い、歳入では、国民健康保険税で90,131千円（△2.9％）、県支出金で40,598千円（△0.4％）、歳出では、保険給付費で67,972千円（△0.6％）それぞれ減少したことによるものである。このほか、歳入では、繰越金で726,367千円（△80.3％）、歳出では、基金積立金で369,960千円（△80.4％）、諸支出金で292,661千円（△81.9％）それぞれ減少している。

国民健康保険税の収納状況は、前年度に比べ収入済額で90,131千円(△2.9％)、収入未済額で36,976千円(△3.9％)それぞれ減少している。

また、収納率は76.0％で、前年度に比べ0.1ポイント低下している。

不納欠損額は48,312千円で、前年度に比べ14,177千円(41.5％)増加している。

なお、予算に定められた一時借入金の借入れの最高額は1,500,000千円であるが、借入れはなかった。

　　歳出予算の流用は、予算の定めに従って適正に処理されていた。

歳入決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　 （単位：千円・％）

(注)「収入済額」欄中の（　）内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 (単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 (単位：千円・％)



国民健康保険税収納状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　(単位：千円・％)



(注)「収入済額」欄中の（　）内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

国民健康保険税と保険給付費等の比較



保険給付費の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 (単位：千円・件)



２　荻布奨学金事業会計

当年度は歳入歳出決算額とも1,794千円の同額である。

歳入では、荻布奨学基金からの繰入金1,285千円は、前年度に比べ39千円(△2.9％)

減少している。

奨学金は、19人の高校生及び高専生に対し1,776千円支給されている。

歳入決算状況 　　 　(単位：千円・％)



歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



奨学金支給状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



３　駐車場事業会計

当年度は歳入歳出決算額とも371,684千円の同額である。

事業収入は213,682千円で、前年度に比べ39,109千円(△15.5％)減少している。これは、御旅屋駐車場で26,241千円、高岡中央駐車場で3,956千円、高岡駐車場で8,912千円それぞれ減少したことによるものである。

　地方債は、起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法について、予算の定めに従って行われていた。

歳入決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



市債現在高の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



御旅屋駐車場利用状況

　(注)（　）内数字は、合計台数の内数。

高岡中央駐車場利用状況

　(注)（　）内数字は、合計台数の内数。

高岡駐車場利用状況

　(注)（　）内数字は、合計台数の内数。なお、高岡駐車場は令和元年９月末で休止。

４　工業団地造成事業会計

当年度は歳入歳出決算額とも2,122,748千円の同額である。

前年度に比べ歳入で1,622,478千円（324.3％）、歳出で1,622,550千円(324.4％)それぞれ増加している。これは主に、歳入では、ＩＣパーク高岡の分譲により財産収入で1,964,435千円(51,641.3％)増加したことによるものである。歳出では、ＩＣパーク高岡の分譲に伴う財産収入を財源として市債の繰上償還を実施したことにより公債費で1,578,576千円（18,319.3％）増加したことによるものである。

地方債は、起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法について、予算の定めに従って行われていた。

なお、予算に定められた一時借入金の借入れの最高額は560,000千円であるが、借入れはなかった。

歳入決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



市債現在高の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



５　介護保険事業会計

当年度は歳入決算額18,221,954千円に対し、歳出決算額18,176,503千円で、歳入歳出差引額は、45,451千円の黒字であり、全額翌年度へ繰り越されている｡

前年度に比べ歳入で578,701千円(3.3％)、歳出で564,600千円(3.2％)それぞれ増加している。これは主に、歳入では、繰入金で247,434千円(9.4％)、支払基金交付金で229,643千円(5.1％)それぞれ増加したことによるものである。歳出では、介護サービスを利用した際に支払われる保険給付費で611,519千円(3.7％)増加したことによるものである。

なお、予算に定められた一時借入金の借入れの最高額は300,000千円であるが、借入れはなかった。

　歳出予算の流用は、予算の定めに従って適正に処理されていた。

歳入決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



(注)「収入済額」欄中の（　）内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



第１号被保険者の介護保険料収納状況　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



(注)「収入済額」欄中の（　）内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

保険給付費の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・件)



６　後期高齢者医療事業会計

当年度は歳入決算額2,473,153千円に対し、歳出決算額2,463,420千円で、歳入歳出

差引額は、9,733千円の黒字であり、全額翌年度へ繰り越されている｡

前年度に比べ歳入で80,137千円（3.3％）、歳出で81,053千円（3.4％）それぞれ増加している。これは主に、被保険者数の増加に伴い、歳入では、後期高齢者医療保険料で91,293千円（4.9％）、歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金で78,607千円（3.4％）それぞれ増加したことによるものである。

歳入決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



（注）「収入済額」欄中の（　）内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)

